

奄美の風たよじ

発行・編集：奄美自然体験活動推進協議会

冬号 vol 1

NO. 3

2001. 2. 1

A N C : News Letter

「ヒカンザクラ（カンヒザクラ）」

奄美フォレストポリスにて

2001. 1. 20撮影

昨年の暮れから今日まで、奄美の天気は晴れたり、雨が降ったり……、の連続です。そんな冬の雨のなかで、ひときわ輝く花がありました。「ヒカンザクラ」の花です。地元の新聞でも紹介されましたが、1月14日(火)に龍郷町の長雲峠にある「自然観察の森」で開花宣言がありました。大和村にある奄美フォレストポリスでも「ヒカンザクラ」の花が咲いています。撮影に出かけたこの日もあいにくの雨でしたが、薄雲の中からちょこっとだけ覗かせる陽ざしに雨のしずくが反射して、「ヒカンザクラ」の花が“きらきら”と美しく輝いていました。

木には小鳥がたくさん集まりはじめ、さえずりがだんだん大きくなって聞こえてきます。静かに春が近づいていることを感じました。



★21世紀をおかえて……

2001年いよいよ新世紀が始まりました。協議会のみなさん、いかがお過ごしでしょうか。21世紀は、自然保護への意識向上や自然の中での体験学習（環境教育）などの重要性が更に認識され、自然愛護活動が高まる社会になると思います。学校教育の現場でも環境教育を多く取り入れ始めています。将来の奄美を担う子供たちへ、そして私たち大人へ、更に島外の人へ、自然とふれあう中で奄美の豊かさを伝えられる存在として協議会の役割もますます大きくなっていくでしょう。そのような活動ができればと思います。

ま知らせ

第1回奄美自然体験活動推進協議会主催 講演会開催のお知らせ<

TBS「動物奇想天外」でもおなじみの千石正一先生による講演会
「奄美の森にすむ生きものたち～両生・爬虫類～」について

協議会では、奄美の豊かな自然の素晴らしさや自然にふれる楽しさを知ってもらうために、自然体験の推進活動として「奄美の森にすむ生きものたち」と題して第1回協議会主催の講演会を開催します。

奄美にはアマミノクロウサギをはじめ、珍しい野生の生きものがたくさんいます。奄美の豊かな自然がほかでは観られない特異な生物を育てているのです。今回は、このような生きものの宝庫である奄美の自然のなかからカエル(両生類)やトカゲそしてハブ(爬虫類)などをテーマにお話をさせていただきます。カエルやトカゲなど、珍しいものが多いのも奄美の特徴です。カエルでは日本産36種のうち10種が奄美に生息していて、密度もかなり高いといわれています。みなさんもお存じのオットンガエルは、奄美大島にだけ生息している特産種です。

なお、講師の千石先生は、テレビなどでもご活躍しており、ご多忙の中奄美大島に調査活動として来島されるにもかかわらず、協議会の講演依頼を快くお引き受けくださり、ボランティアで講演していただくことになりました。

講演会をとおして、私たちの住む奄美の自然や野生の生きものに興味をもっていただけたら、そして、楽しみながら自然にふれる機会を増やして素晴らしい奄美の自然を体感していただけたらと思います。

是非、みなさんもお家族やご友人などをお誘いのうえご参加ください。
※開催日程等については下記のとおりですが、参加数により会場を大和村総合体育館(中央公民館となり)に変更する可能性もありますので、追ってお知らせいたします。

- (1) テーマ：「奄美の森にすむ生きものたち～両生・爬虫類～」
- (2) 講師：千石正一先生 (財)自然環境研究センター
- (3) 開催日時：平成13年3月4日(日)午後1時20分～午後4時
- (4) 会場：大和村中央公民館(大和村役場川向かい)
- (5) 対象：小学生以上
- (6) 募集定員：150名程度
- (7) 参加費用：無料(会場までの交通費は自己負担)
- (8) 協賛：環境省奄美野生生物保護センター

※お問い合わせは、協議会事務局まで TEL0997-55-8620

協議会活動報告

「やせいのいきもの」絵画展
2/10(土)まで開催>

◆第1回「やせいのいきもの絵画展」 ご応募ありがとうございました>
2000.12.17(日)～2001.2.10(土)

協議会では、児童生徒たちに自然にふれる機会をとおして奄美の自然や生きものたちに興味・関心をもってもらうことを目的とした自然ふれあい行事として、奄美野生生物保護センターとの共催で第1回「やせいのいきもの絵画展」を開催しました。

奄美大島内外からたくさんの応募がありました。

絵画展を開催するにあたっては、14市町村の教育機関やマスコミ関係者を通してお知らせし、多くのご協力をいただくことができました。その結果、応募総数143点、小中学校あわせて10校から作品をいただきました。子供たちが身近に知っている生きものから普段は見かけないものまで、野生の生きものの中から好きな生きものを児童生徒の目線でいきいきと描いており、どの作品も力作ばかりでした。

野生の生きものは、静止していることがなかなかいため観察しながら描くことは難しいので、今回は図鑑等を調べて描いている子が多かったようです。それでも図鑑から描写しているうちに、森の中で生きものたちが過ごしている様子を想像しているようで、楽しく描かれました。子供たちの感性がタイトルとなって「ケナガネズミくんのおさんぽ」とか「リリカケスとおともだち」、そして弱肉強食の世界「えさをめぐる争い」などなど…。その中から入賞作品を選ぶことは至難の業でした。協議会会長及び協議会事務局とセンターの職員による厳選かつ公正な審査によって、11月29日に第1次選考で42点にしぼり、更に同月30日第2次選考で入賞作品12点を選びました。そして、12月17日(日)午前11時センター内の企画展示室にて表彰式が行われました。表彰式に参加した入賞者11名には協議会会長より一人一人に賞状と副賞が手渡されました。入賞者のみなさん、おめでとうございます。応募されたみなさんには絵画展終了後参加賞をお贈りします。たくさんのご参加どうもありがとうございました。第2回も予定しています。ご応募をお待ちしています>

〔 絵画展のようす 〕



〔 表彰式のようす 〕



〔 記念撮影 〕



◆入賞者および作品の紹介

賞	入賞者	題名	学校名(学年)
特選	①山田花恋さん	リュウキュウアカショウビン	朝日小学校(2年)
	②中島すみれさん	ルリカケス	鹿屋第一中学校(1年)
入選	③栄 綾音さん	オットンガエル	戸口小学校(2年)
	④里川龍正くん	ケナガネズミ	大和小学校(3年)
	⑤納 孝行くん	アマミノクロウサギ	大和小学校(6年)
	⑥森 千明さん	ルリカケス	大和中学校(2年)
佳作	⑦徳田あゆみさん	アカヒゲ	戸口小学校(2年)
	⑧重信さやかさん	アマミノクロウサギの親子	大和小学校(4年)
	⑨川畑秀平くん	親子ルリカケス	名音小学校(4年)
	⑩山田風花さん	リュウキュウメジロ	朝日小学校(6年)
	⑪小田翔太くん	ケナガネズミ	大和小学校(6年)
	⑫永田麗子さん	アマヤマシギ	大和中学校(3年)

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑩



⑨



⑪



⑫



【第1回絵画展参加校の紹介】

伊子茂小学校, 戸口小学校, 大和小学校, 名音小学校,
小宿小学校, 朝日小学校, 宮浦小学校(屋久島),
笠利中学校, 大和中学校, 鹿屋第一中学校(鹿屋市)

※ ご参加ありがとうございました<

【絵画展をご覧になった方からの感想】

【 絵画展掲載記事 】

地域紹介コーナー

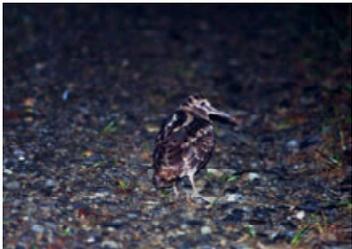
大和村 (奄美フォレストポリス)

大和村は、宇検村との境にある奄美最高峰の「湯湾岳(694.4m)」から四方に連なる山々に覆われ、総面積の88%が山林原野で平地の少ない村です。このように自然が豊かな大和村の福元盆地内には、森林を活かした観光レクリエーション施設や森林学習施設として奄美フォレストポリスがあります。フォレストポリスには「ふれあい・水辺・キャンプ・溪流」の4つのゾーンがあり、楽しく自然にふれられる「森の中の散策」、「マテヤの滝散策」、「湯湾岳散策」の3つの散策コースがあります。今回はその中から湯湾岳散策コースを紹介しましょう。奄美フォレストポリスから車で、林道、福元湯湾線→湯湾岳線→田検福元線をとおり、約20分で目的地の入口駐車場に着きます。登山道に入ると中腹の神社まではボードウォークの散策路になっています。途中では貴重な奄美の固有植物や昆虫のほか、さまざまな野生の生きものを観ることができます。境内には展望台があり、奄美大島の北側の山々を一望できます。山頂へはそこから10分ほど歩いたところにあります。

湯湾岳散策コース



アマミフユイチゴ



アマミヤマシギ

◆◆◆◆◆ このコースやその周辺で見られる主な野生生物 ◆◆◆◆◆		
植	アマミフユイチゴ(バラ科)	サクラツツジ(ツツジ科)
	アマシバ(ハイノキ科)	イジュ(ツバキ科)
物	オオシマガマズミ(スイカズラ)	ハシカンボク(ノボタン科)
動	リュウキュウメジロ	リュウキュウハグロンボ
	アマミヤマシギ	バーバートカゲ, リュウキュウアオヘビ
物	オーストンオオアカゲラ	キセキレイ

※他にもたくさんの動植物を見ることができます!!

身近な生きもの情報

野生の生きもの観察日記

§ 2000. 11. 10(金) 迷鳥「ヒシクイ」

午後3時頃、大和村役場の方から「津名久港に見たことのない鳥がいる」と連絡が入りました。現場に駆けつけてみると、マガンによく似た大きな鳥が1羽いました。近づきながら観ていると、西の方向へ飛んでいきました。しばらく車で探してみましたが姿はなく、とりあえずセンターに帰りました。調べてみると天然記念物の「ヒシクイ」でした。奄美へはまれにしか渡来しない冬鳥だそうです。珍しい鳥が大和村に来ていることに驚きながら「どこへ行ってしまったのだろう？」と事務室内では「ヒシクイ」の話題で賑やかでした。夕方4時半頃、再び同じ方から「さっきの鳥が大和川にいますよ」との連絡があり、急いで大和川へ向かいました。迷鳥がセンター近くにきていると、はやる気持ちを抑えてそっと川を覗くと、「ヒシクイ」はのんびり休んでいました。白と茶色のきれいな鳥で、しばらく観ているとこちらに気づいたのか逃げるように上流へと行ってしまいました。オレンジ色の足で水をかき進む姿は、キリリとした印象とは違いとても可愛いものでした。「ヒシクイ」を追って川の上流へ行ったり、下流へ行ったり、まるで「ヒシクイ」と鬼ごっこをしているようでした。「ヒシクイ」は、興味津々で後をついてくる私たちを見てはクルッと向きを変えながら泳いでいましたが、草むらに隠れてしまいました。その後2・3日は大和川で水草を食べている姿を見かけたので、大和川で越冬するのでは?と期待しましたが、残念ながらそれ以後は姿を消



してしまいました。どこへ行ってしまったのでしょうか。

(報告:センター・里)

§ 2000. 11. 21(火) 2羽の「アマサギ」がセンター空き地で採餌中。

10時40分頃、テスクワークの途中にふと外を見ると、真っ白で大きな鳥が2羽センター敷地内の空き地にいました。あわててフィールドスコープで覗いてみると、「アマサギ」でした。はじめは草も何にもない広い空き地にいましたが、しばらくして2羽は近くの草の茂っているところへゆっくり移動しました。餌を求めてあちらこちらと動く「アマサギ」の姿を窓から観ていると、人間が自分たちの動きに合わせて動いている様子に気がついたのでしょうか。草むらに隠れては時々ちょこっと顔を覗かせたり、体勢を低くしてそっと移動したりと、こちらを意識しながら採餌していました。きっと「気になって食べることに集中できないじゃないか」と思っていたことでしょうか。こちらを気にしながらも餌を求めて近くまできました。ここぞとばかりにシャッターをおしました。シャッターの音に度々静止しては不思議な顔をしていました。約1時間



でしたが、とても楽しい観察ができました。

(報告:相島)

◆奄美大島情報（寄せられた情報の一部です）

冬に見られる野生生物

※参考文献:

琉球弧野山の花図, 図鑑奄美の野鳥, 山溪ハンディ図鑑7

【 **アマサギ** 】コウノトリ目サギ科 全長50cm (冬鳥・旅鳥)

分布:九州以北～本州

シラサギ類の仲間では、くちばしが橙色で最も小さく、体も最も小さい。本来は南方系の種だが、日本では主に夏鳥として渡来し、本州以南で繁殖する。奄美では春秋の渡りの時期に群れている姿を見ることが多く、少数が越冬や越夏している。夏羽は白い体に頭部や首、背に橙色の飾り羽があるが冬羽は全身が白い。頭に少し黄色味をおびているものもある。

鳴き声:コア コア, グワアアなど 生息時期:1月～12月



【 **ヒシクイ** 】ガンカモ目ガンカモ科 天然記念物 全長83cm (迷鳥)

分布:本州以南,主に東北,北陸地方

体全体が暗い褐色でマガンより顔や首が暗色で大きい。くちばしが太く黒色で先端部に黄色の帯模様があり、足は橙色であるのが特徴。本州以南,主に東北,北陸地方に冬鳥として渡来し、湖沼や水田一帯で生息している。奄美へもまれに渡来し越冬した記録もある。たいていは1羽のみ。記録分布では奄美大島のみであったが、平成12.11.30徳之島では、天城町で初めて飛来が確認された。

鳴き声:グワアワアワア グワアワアワアなど

記録時期:11月～4月 記録分布:奄美大島,徳之島



【 **リュウキュウメジロ** 】スズメ目メジロ科 全長11.5cm (留鳥)

分布:全国

方言名:スイバムイ, オクサムイ

全国の平地から山地にかけて生息している。奄美では留鳥として繁殖しているのは亜種リュウキュウメジロで、本土のものは腹の両脇が褐色または淡褐色を帯びているのに対して、リュウキュウメジロは褐色味がなく、灰白色またはクリーム色なので識別ができる。人家の近くから原生的な深い森まで幅広くすんでいて、奄美では最も多い野鳥の一つ。

鳴き声:チーチュルチュル, チーチー, キュルルルルなど

生息時期:1月～12月

生息分布:奄美大島,加計呂麻島,請島,与路島,喜界島
徳之島,沖永良部島,与論島



【 **カンヒザクラ(ヒカンザクラ)** 】 バラ科

分布： —

人里周辺で植栽される中国原産の落葉高木である。葉身は楕円形または長楕円形で長さ8～13cmである。開花時期は1月～3月頃で、花は葉に先だて前年枝の葉腋から1～2個下向きに咲く。花弁は緋紅色で斜開する。果実は卵円形で長さ12～16mmで赤熟する。和名は寒緋桜で、寒期に花を咲かせることからきている。本土で桜といえば、ソメイヨシノが一般的であるが、奄美では一足早く咲く桜として知られる。ヒカンザクラの花の蜜を吸いにメジロなどがよく集まる。



【 **ヤッコソウ** 】 ラフレシア科

分布：四国(徳島県・高知県)、九州(宮崎県・鹿児島県)以南、

山地の林内に生える無葉緑の多年生寄生植物。スダジイの根に寄生し、栄養体は寄主植物の体内にあって、花のみが寄主植物体から出てくる。花茎は白色で高さが7cm位。鱗片状の葉は対生して交互直角にでる。花には蜜液が多く、葉腋にたまった蜜をメジロや昆虫類が吸いにくる。和名は草姿が奴さんのねり歩く姿に似ていることからきている。



【 **サクラツツジ** 】 ツツジ科

分布：四国(高知県)・九州(佐賀県・鹿児島県)以南
低地から山地の林縁に生える常緑低木。樹幹には凹凸がある。若枝や葉柄には伏した長毛がやや密生しており、葉は2～3枚が枝先に対生または輪生している。葉柄の長さ2～4mm。葉身は楕円形または長楕円形で2～6mmの長さ。花は枝先に2、3個束生。花冠は淡紅白色で上側内面に濃色の斑点がある。



— 編 集 後 記 —

まだまだ寒い日が続いていますが、お変わりありませんか。本紙1頁にも書きましたが、これからの自然環境や地域のニーズにあわせて、協議会も積極的な活動を行っていきたいと思います。協議会のみなさんからの貴重なご意見を計画に反映していきたいと考えていますので、協議会事務局までどしどしご意見をお寄せ下さい。お願いいたします。

編集・発行：奄美自然体験活動推進協議会事務局

- 〒894-3192
鹿児島県大島郡大和村大和浜100
大和村役場 企画課
TEL: 0997-57-2111
- (連絡・書類等送付先)
〒894-3104
鹿児島県大島郡大和村思勝字腰ノ畑551
奄美野生生物保護センター内
TEL: 0997-55-8620
FAX: 0997-55-8621